

直言曲言：鳥取市の竹内功市長が市庁舎整備の方針を示すとした…／鳥取

毎日新聞 2013年04月14日 地方版

鳥取市の竹内功市長が市庁舎整備の方針を示すとした6月が迫るなか、判断材料を整理する市庁舎整備専門家委員会が続いている。7日の会合では、現地で新築することを決めた甲府市の職員が整備の経緯を説明した▲職員が繰り返し述べたのは「丁寧に民意を把握した」ということ。甲府市の宮島雅展市長は選挙公約に市庁舎の新築を盛り込み、一度民意を問うた上で、「民意は流動化する」として自ら市内29カ所を回り、直接市民に説明したそう。実施設計段階でも市民の声を入れるなど、事あるごとに民意を把握。市民と一緒に庁舎建設を進めたという▲鳥取市はどうだろう。昨年5月の住民投票後、竹内市長自身が「説明が不足していた」と反省している。市民にきちんと向き合っていれば、混乱は起きなかったのかもしれない。4月中に実施する市民アンケートが、市民との距離を縮めるきっかけになればいいのだが。【川瀬慎一郎】